

救急医療コントロールによる転院状況

(出所：広島市民病院転院患者情報)

① 年度別転院患者数

- ▶ 各年度の「転院率」は約 73%～98%の間で推移している。
- ▶ 各年度の「1 回目での決定率」は、約 79%～93%の間で推移している。

(単位：人)

区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
救急転院対象患者数 (a)	—	—	—	512	462	516	406
転院患者数 (b)	67	352	456	464	388	378	353
転院率 [b/a]	—	—	—	90.6%	84.0%	73.3%	86.9%
稼働日数 (c)	46	248	304	365	365	366	365
稼働 1 日当たりの転院患者数 [b/c]	1.46	1.42	1.50	1.27	1.06	1.03	0.97
転院交渉1回目で決定した転院患者数 (d)	57	279	390	417	361	344	318
1回目での決定率 [d/b]	85.1%	79.3%	85.5%	89.9%	93.0%	91.0%	90.1%

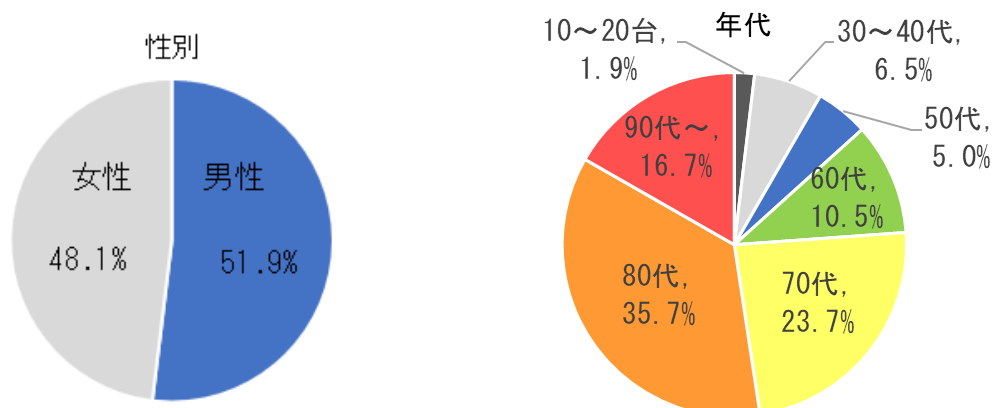
区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
救急転院対象患者数 (a)	358	465	270	314	308	298	3,909
転院患者数 (b)	350	430	235	285	244	277	4,279
転院率 [b/a]	97.8%	92.5%	87.0%	90.8%	79.2%	93.0%	—
稼働日数 (c)	365	365	366	365	365	365	4,250
稼働 1 日当たりの転院患者数 [b/c]	0.96	1.18	0.64	0.78	0.67	0.76	1.01
転院交渉1回目で決定した転院患者数 (d)	310	400	216	236	205	238	3,771
1回目での決定率 [d/b]	88.6%	93.0%	91.9%	82.8%	84.0%	85.9%	—

② 転院患者の性別及び年代（平成 23 年度～令和 5 年度累計）

- ▶ 男女の患者数は、年代別にみると差があるが、合計すると男女でほぼ同数となっている。
- ▶ 年代別の割合は、80 代が最も高く、次いで 70 代となっており、70 代以上を合計すると、全転院患者の 76%を占めている。

（単位：人）

性 別	10～20台	30～40代	50代	60代	70代	80代	90代～	合計
男 性	48	162	121	268	595	753	275	2,222
女 性	33	114	92	183	421	773	441	2,057
合 計	81	276	213	451	1,016	1,526	716	4,279
割 合	1.9%	6.5%	5.0%	10.5%	23.7%	35.7%	16.7%	100.0%

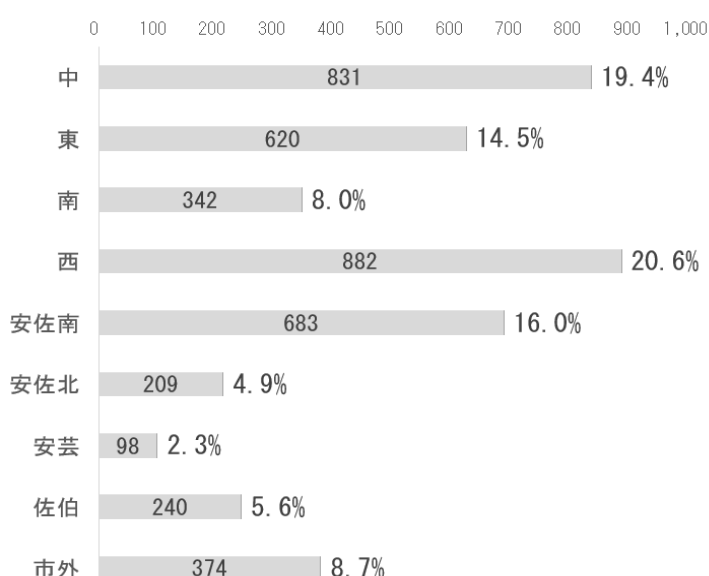


③ 転院患者の居住地（平成 23 年度～令和 5 年度累計）

- ▶ 広島市内の患者が全体の 9 割以上を占めており、西区、中区、安佐南区の順に患者が多い。
- ▶ 市外：府中町 186 人、廿日市市 33 人、江田島市 6 人、海田町 17 人、熊野町 7 人、その他 125 人

（単位：人）

区分	人数	割合
中	831	19.4%
東	620	14.5%
南	342	8.0%
西	882	20.6%
安佐南	683	16.0%
安佐北	209	4.9%
安芸	98	2.3%
佐伯	240	5.6%
市外	374	8.7%
合計	4,279	100.0%



④ 曜日別転院人数（平成 23 年度～令和 5 年度累計）

- ▶ 土日の転院割合は 0.6%であり、ほとんどの転院が平日に実施されている。

（単位：人）

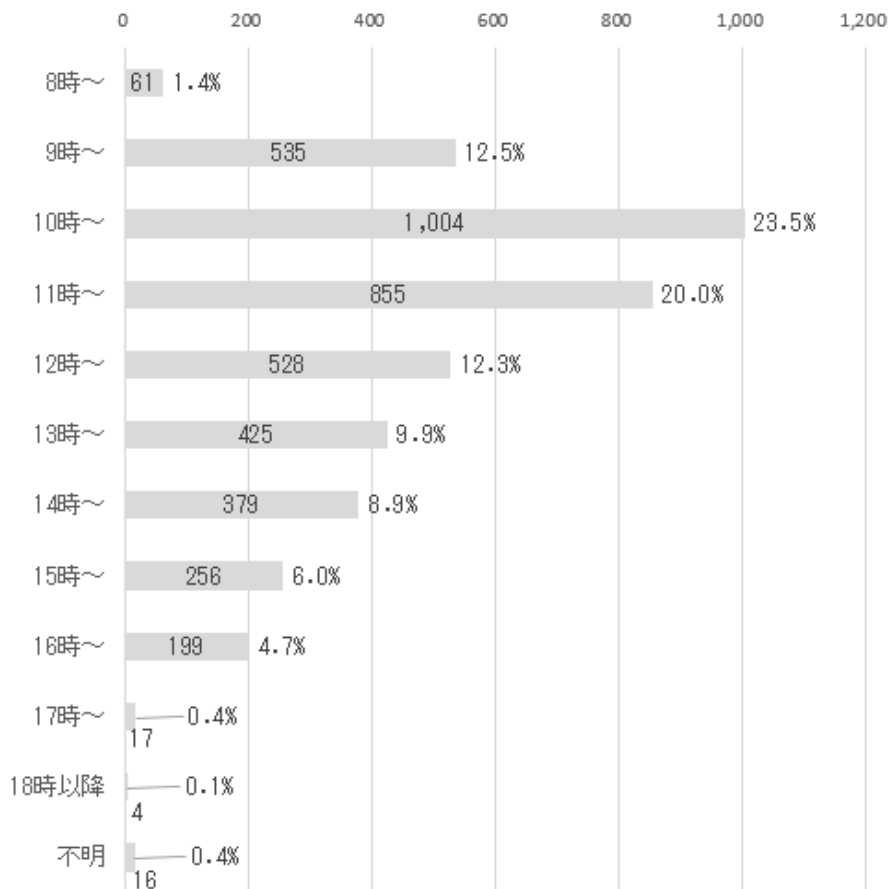
区 分	月	火	水	木	金	土	日	合計
転院人数	781	987	854	796	839	20	2	4,279
割 合	18.4%	23.1%	20.0%	18.6%	19.6%	0.5%	0.1%	100.0%

⑤ コーディネーターからの転院依頼時間帯（平成 23 年度～令和 5 年度累計）

- ▶ 10 時台の転院が最も多く、13 時までの転院が 70%を占めている。

（単位：人）

時間帯	患者数	割合
8時～	61	1.4%
9時～	535	12.5%
10時～	1,004	23.5%
11時～	855	20.0%
12時～	528	12.3%
13時～	425	9.9%
14時～	379	8.9%
15時～	256	6.0%
16時～	199	4.7%
17時～	17	0.4%
18時以降	4	0.1%
不明	16	0.4%
合 計	4,279	100%

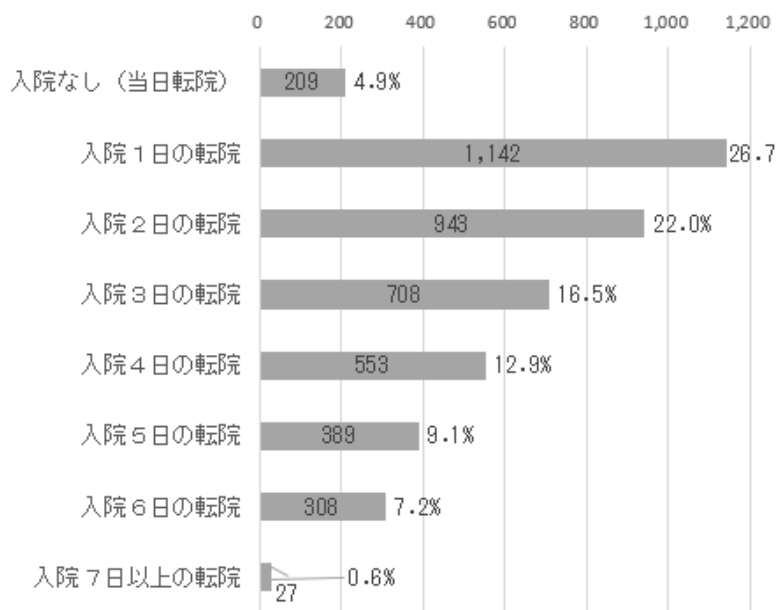


⑥ 転院までの入院日数（平成 23 年度～令和 5 年度累計）

- ▶ 入院 2 日までに転院した患者が過半数を占めており、ほぼ全ての患者が入院 6 日までに転院している。

（単位：人）

区 分	患者数	割合
入院なし（当日転院）	209	4.9%
入院 1 日の転院	1,142	26.7%
入院 2 日の転院	943	22.0%
入院 3 日の転院	708	16.5%
入院 4 日の転院	553	12.9%
入院 5 日の転院	389	9.1%
入院 6 日の転院	308	7.2%
入院 7 日以上 of 転院	27	0.6%
合 計	4,279	100%



⑦ 診療科目別患者数（平成 23 年度～令和 5 年度累計）

- ▶ 広島市民病院内での最終診療科は内科系が 90%近くを占めている。
- ▶ 最終の診療科目が内科・脳神経外科以外となっている患者については、転院先に対し、内科的な治療や経過措置のみの継続治療をお願いしている。

（単位：人）

区 分	患者数	割合	区 分	患者数	割合
内科	1,959	45.8%	整形外科	11	0.3%
呼吸器内科	1,634	38.2%	皮膚科	7	0.2%
循環器内科	220	5.1%	救急科	8	0.2%
脳神経外科	112	2.6%	呼吸器外科	3	0.1%
泌尿器科	59	1.4%	婦人科	3	0.1%
耳鼻咽喉科	59	1.4%	腫瘍内科	2	0.05%
神経科・神経内科	27	0.6%	心臓血管外科	1	0.02%
脳神経内科	24	0.6%	心臓外科	1	0.02%
外科	24	0.6%	総合診療科	1	0.02%
循環器科	22	0.5%	麻酔科	1	0.02%
			その他診療科	101	2.4%
			合 計	4,279	100.0%

⑧ 支援病院受入不可理由（令和 5 年度）

- ▶ 「満床」が最多であり、過半数を占めている。

診療中	0
手術中	0
満床	25
専門外	5
医師不在	2
処置困難	2
不明	2
その他	11
合 計	47

その他

- ・ 交通外傷のため
- ・ 血気胸のため
- ・ 個室しか空いておらず、家族の希望で転院しなかった 等

⑨ 支援病院別受入状況（平成 23 年度～令和 5 年度累計）

- ▶ 舟入市民病院、JR 広島病院、広島記念病院が全体の 4 割近くの患者の転院を受け入れている。

（単位：人）

転 院 先	受 入		転 院 先	受 入	
	件数	割合		件数	割合
舟入市民病院	571	13.3%	広島厚生病院	62	1.4%
J R 広島病院	550	12.9%	広島市医師会運営・安芸市民病院	32	0.7%
広島記念病院	478	11.2%	山崎病院	31	0.7%
広島はくしま病院	265	6.2%	ぎおん牛田病院	31	0.7%
福島生協病院	236	5.5%	ヒロシマ平松病院	29	0.7%
広島共立病院	233	5.4%	光仁会梶川病院	28	0.7%
マツダ病院	233	5.4%	荒木脳神経外科病院	21	0.5%
吉島病院	221	5.2%	シムラ病院	22	0.5%
長崎病院	165	3.9%	高陽ニュータウン病院	22	0.5%
太田川病院	157	3.7%	長久堂野村病院	18	0.4%
中電病院	146	3.4%	高陽第一診療所	15	0.4%
たかの橋中央病院	130	3.0%	いまだ病院	12	0.3%
五日市記念病院	118	2.8%	藤井病院	8	0.2%
日比野病院	96	2.2%	広島中央リハビリテーション病院	8	0.2%
メディカルパーク野村病院	93	2.2%	翠清会梶川病院	8	0.2%
広島赤十字・原爆病院	88	2.1%	広島三菱病院	6	0.1%
土谷総合病院	78	1.8%	一ノ瀬病院	4	0.1%
一陽会 原田病院	63	1.5%	松石病院	1	0.0%
合 計				4,279	100.0%